

学生だより

平成21年7月15日発行(年2回・7月、1月)
発行人/金澤紀子
発行/社団法人日本歯科衛生士会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023
<http://www.jdha.or.jp/>

出会う喜び、学ぶ楽しみ、扉がここにある



日本歯科大学東京短期大学



徳島歯科学院専門学校



島根県歯科技術専門学校



鹿児島医療福祉専門学校

P6、7に各校の学校紹介、学校自慢を掲載しています。

歯科衛生士の「専門性」と「人間力」をみがこう

社団法人日本歯科衛生士会
会長 金澤 紀子



歯科衛生士は、乳幼児から高齢者まで、また、健康な人、有病者、障害者、そして要介護者の方々まで、すべての人々のライフステージに応じて、口腔の健康の維持管理をサポートし、食べる、話すという生きる上での基本的な営みを支える役割が求められています。そして、診療所や病院、また、地域や施設において、多くの職種との連携による活動へと広がっています。これからの活動には専門的な知識・技術のみならず、人間

力をみがかなければなりません。人間を理解する、人間との関係を築く、その基礎となるのがコミュニケーションとコラボレーションの力です。学校生活で「専門性」と「人間力」をみがきましょう。

～日本歯科衛生士会からのご案内～

日本歯科衛生士会は今年で創立58年、社団法人設立から43年を迎え、国民の健康と福祉に貢献することを目的に、歯科衛生士の職能団体としてその歴史とともに歩んでいます。全国47都道府県歯科衛生士会と連携を図りながら、会員のキャリアアップを支援し、歯科衛生士の教育や業務の向上に取り組む活動をしています。平成18年には日本歯科衛生学会が設立され、20年度には認定歯科衛生士制度が始まりました。平成21年度も様々な事業が展開されます。

日衛だより

年6回偶数月に発行し、全国16000人の会員へお届けする機関紙です。

歯科保健医療分野での歯科衛生士に関連する情報、研修会のお知らせ、学術大会の開催情報など歯科界の動向をすばやく把握できるようニュースを提供しています。



学生だより

全国で歯科衛生士を目指す学生の皆さんのための機関紙です。毎年夏と冬の年2回発行しています。全国の歯科衛生士養成学校の様子や学生さんの紹介、歯科衛生士業務に関する記事、日本歯科衛生士会の事業の紹介や学生さんに役立つ情報をお届けします。



ホームページ

Web上で日本歯科衛生士会の活動を紹介しています。日衛だよりと同様に歯科衛生士に関連情報を速報性を重視してお届けいたします。今年4月、ホームページのリニューアルを行い、会員の方により活用していただきやすいホームページとなりました。学生の皆さんも、ぜひ一度ホームページをのぞいてみてください。



<http://www.jdha.or.jp>

学生部

日本歯科衛生士会では、在学中から歯科衛生士会の活動に触れることにより、卒後の業務に適応する能力を養うことを目的に学生部を設置しています。学生部に入会いただいた方には、学生だよりをはじめ、日衛だより、日本歯科衛生学会雑誌、歯科衛生士手帳等を配布しています。また、卒業継続して歯科衛生士会に入会いただく場合には日本歯科衛生士会の入会金の免除等、メリットがたくさんあります。会費は1年間で2000円です。加入にあたっては学校を通して都道府県歯科衛生士会にお問合せください。

学生部員証のご案内

学生部に加入いただいた学生さんには「平成21年度 学生部員証」をお届けしています。学生部員証には所属する都道府県、学校名、学年が記載されています。お手元に届きましたら学年の横の余白に写真のようにご自身で名前を記入してください。



この学生部員証は学生部員であることを証明するものです。歯科衛生士会が開催する研修会や日本歯科衛生学会学術大会に参加する場合は必ず学生部員証を持参してください。学生部員のみなさんが卒業し、日本歯科衛生士会に入会する時は入会金免除の特典(卒後1年以内)を受けるための証明になりますので、紛失することのないよう入会申込時に添付してください。

学生部員会長表彰

在学中に、学業等優秀な成績を修め、かつ学生としての品位を保ち、社会的な歯科保健活動に積極的に関わり他の学生の模範となった学生に学生部員会長表彰を行なっています。表彰は卒業時に賞状の授与をもって行います。昨年度は54校54名の方が表彰されました。

出 会 い こ の 人

File 3

山田 千恵さん
 (特非) 神奈川県歯科衛生士会
 神奈川歯科大学附属横浜研修センター
 横浜クリニックインプラント科

第3回目の「出会いこの人」は、神奈川歯科大学附属横浜研修センター横浜クリニックインプラント科に勤務されている山田 千恵さんのご紹介です。歯科の他に医科も併設されたクリニックでチーム医療の一員として活躍されている山田さん。
 患者さんの気持ちを理解し、相手に合わせたインプラント治療を目指し、これからも努力し、仕事の質を高めていきたいという山田さんから仕事の内容ややりがい、魅力などをうかがいました。



歯科衛生士を目指したきっかけは…

高校時代、自分の将来を考えたとき、机に向かう事務的な仕事ではなく、何か資格を持ち、生涯現役で活躍できる職業に就きたいと思いました。

ある時、父の知り合いのお嬢さんが、歯科衛生士という職業に就き、大変活躍していると聞きました。私は小さい頃より人の役に立つことや、ボランティアなど、人と接することが好きで、医療関係の仕事にも興味があったので、国家資格も取得できる湘南短期大学（旧日本女子衛生短期大学別科）に進学し、この道を選びました。



医科・歯科のチーム医療の一員として

現在私の勤務している神奈川歯科大学附属横浜研修センター横浜クリニックは2002年に開設されています。歯科以外にも医科も併設され内科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、放射線科、薬剤科と医療連携が取れる環境でカルテ記載内容も医科と歯科が同時に供覧できる環境にあります。所属科であるインプラント科は単に口腔の欠損症に対して治療を施すのではなく心身全体で考えるトータルケアとしての取り組みが必要と考えています。

ここでの歯科衛生士の役割は幅広く、診療の補助が基本になります。また、初診で来院された患者様は担当制になっております。歯科医師、歯科技工士、そして歯科衛生士が一貫治療としてインプラント治療を管理していきます。チーム医療の一員として活躍の場を頂いています。

当科に来院される患者様は長期的なお付



き合いになる場合が多く、歯周病処置(TBI、PMTCなど)1次手術までの精神的なケア、全身管理のサポートやアドバイス、手術前の説明やオペオリエンテーション、手術後のケア、予約管理に至るまでの約1年から3年のお付き合いになります。幸い担当制ですので治療の進捗とともに患者様の生活背景を会話の中から見出し歯科医には直接言えない、もしくは聞き漏らした情報などを補足しトラブルを未然に防ぎ、各人のパーソナリティに応じたコーディネーター能力を最大限に発揮させ患者様との信頼関係を築いていきます。

又、手術時のスタッフとしても院内感染対策を徹底し手術時の介助や器具機材の準備に配慮し、安全で確実なインプラント治療を実施しているよう日々努めています。

当クリニックは卒業研修センターであり、卒後臨床研修医が治療しているだけでなく、歯科大学の院内生や近隣の歯科衛生士専門学校、私の母校でもある湘南短期大学の学生たちも臨床実習に来られます。院内感染予防テクニック(スタンダードプリコーション)やインプラント治療全体の流れや特殊性、歯科衛生士の役割など短期間に理解してもらえるように指導させて頂いています。

仕事のやりがいと魅力について

3年程前までは手術に関する業務は看護師の役割でしたが、現在ではほとんど歯科衛生士が業務を担っています。日頃の患者様の全身状態を含めた情報は理解していますし、顔なじみであることや手術時の緊張や不安が少ないなどの理由から現在に至っています。これは歯科衛生士の専門職としての自立を感じます。インプラント患者の平均年齢は60歳前後で有病罹患率が高い年齢層でもあります。人生の過程で様々な理由により歯を喪失し来院されます。例えば歯周病、外傷、齲蝕、ブラキシズム、家族の介護で自分の時間がなく自己のケアまでは手が及ばなかったなどの問題をかかえた患者様の気持ちを理解し相手にあわせてインプラント治療を行いたいと思います。

この職業に就き始めた若い頃よりも、自分自身の子育てや介護の経験を通じて、以前とは異なる人生の価値観を患者様と共感できる喜びと、お金では買えない満足度「ここに巡り合えて良かった!」と言う感

謝の言葉を頂き、患者様のQOLの向上を確認できた時はとてもやりがいを感じます。年齢を重ねて行くほどに精神面でのケアにも自信を持つことができ自分らしさを引き出せる仕事と信じ、これからも努力し仕事の質を高めていきたいと思っています。



学生さんへのメッセージ

学校で学んだ知識や技術の習得は焦らずに日々努力を重ねることが大切です。毎日のスタンダードな診療が自然に行えてアドバンスなことが出来るようになります。そこから、気付きや自分らしさが生まれてきます。医療が日々進歩している中で自分らしさを表現するならば、コミュニケーション能力を磨く努力が必要だと思います。一方的な知識の押し売りをせず相手の気持ちを察し、最後まで話を聞くゆとりと意見を言う間、頭ではなく心で感じる事、それには机上の勉強だけではなく、体験、経験を通じ相手の立場を自分に置き換えられる気持ちを養い心豊かな歯科衛生士に育ってください。



◎プロフィール



山田 千恵さん

- 1982年 湘南短期大学(日本女子衛生短期大学別科)卒業
- 1982年~1985年 奥平歯科医院勤務
- 1985年~1990年 野村歯科医院勤務
- 2005年~2006年 野村歯科医院勤務
- 2006年~ 神奈川歯科大学附属横浜研修センター横浜クリニックインプラント科勤務
- 2007 国際インプラント歯科学会認定衛生士、コーディネーター

輝け未来の歯科衛生士

全国の学生さんを紹介します！

明倫短期大学歯科衛生士学科
3年
佐藤 直美さん



1 元々は歯科助手として歯科医院に勤務していました。歯科恐怖を持つ患者さんを担当し、患者さんからも「あなたがいてくれて本当によかった」と言って頂けるようになり、やりがいを感じていました。しかし助手の立場では、いくらたくさんの事を勉強しても患者さんに直接関わることはできない、初診から治療まで私自身で担当したい…それができない自分に不甲斐なさを感じ入学を決意しました。

2 「いい匂いのお姉さん」EZの匂いが好きだったので。でも、自分自身が他人の口の中を診るなんて考えられない！と本気で思っていたのに、今では患者さんを前にすると「よーし！綺麗にしちゃうぞ〜！」と気合が入るのは不思議なものです。

3 入学当初は同級生と11歳もの年の差があるため、馴染めるのか本当に心配でした。今では友達もたくさんできて毎日が最高に楽しいです。自分の貯金から全額学費を出しているの、現役時代よりも勉強に身が入ります。明倫短期大学は介護施設での口腔介護実習に力を入れていて6週間施設実習に行きますが、実習はとても楽しく、利用者さんに「あなたは笑顔が素敵ね！」と褒められて嬉しかったです。



4 私は人の笑顔を見るのが大好きです。技術的、知識的に優れた歯科衛生士になり患者さんのお役に立ちたいのは当然のこと、自分の家族に接するように親身になって心に寄り添い、笑顔を引き出せる歯科衛生士になりたいです。患者さんの笑顔が私への最高のプレゼント！顔を見れば皆が笑顔になってしまう、そんな歯科衛生士を目指しています。

名古屋ユマニテク歯科医療専門学校
2年
長木 愛さん



1 私が歯科衛生士の道に進もうと思ったきっかけは、とても単純なものでした。具体的な進路が決まらず、資格を取り一生続けられる仕事を探して迷っていた頃に、母に歯科衛生士になることを勧められました。私はそれまで歯科衛生士という仕事がどのような職業なのか全く知りませんでした。母に言われてから自分なりにパソコンや資料を集めて調べてみると、女性が中心となり活躍し、たくさんの人の役に立つことが出来るともやり甲斐のある仕事だと感じました。歯についての知識は全くありませんでしたが、この仕事に次第に興味を持ち始め、目指すことを決めました。

2 恥ずかしながら、歯科衛生士という名称を知ったのは進路について考えるようになってからです。友人に伝えても、知っているという人は多くありませんでした。私は小さい頃に歯科医院へ行ったきりであまり記憶がありませんが、先生の横でお手伝いをする優しいお姉さんがいたことは覚えてます。歯科衛生士という仕事は活躍できる場が歯科医院だけでは無い事、業務内容も幅広く全身の健康に関係する職業だと知り驚きましたが、それ以上に歯科衛生士を目指す気持ちが強くなりました。

3 初めは授業も今までに無い科目ばかりで、たくさんの専門用語を耳にし、不安ばかりでした。でも実習や試験などクラスメイトとお互いに励まし合いながら充実した楽しい日々を過ごしてきました。私のクラスは年の差など関係無く皆仲が良くて大好きなクラスです。今は2年生に上がり、臨床実習では1年生の時に学んだ事を活かして実習の現場で歯科衛生士への第1歩として更に多くの事を学ぶよう精一杯頑張っています。

4 目標は、患者様が気軽に何でも話せるような信頼関係を築き、正確な技術と豊富な知識を身に付ける事で安心して治療を受けて頂ける様な親しみのある歯科衛生士を目指していきたいと考えています。私はこの仕事が自分に向いていると思っています。この仕事に出会えた事に感謝しています。これからも明るく元気に頑張ります。



学生のみなさんはどうして歯科衛生士の道に進まれたのでしょうか？

動機は様々でも志は同じなのではないでしょうか。4人の学生さんに協力していただき4項目についてお尋ねしました。一緒に考えてみませんか。



◎アンケートの内容

-
- Q1. 歯科衛生士を目指した動機
 - Q2. 今までの歯科衛生士に対するイメージ
 - Q3. 学校生活について
 - Q4. 将来どんな歯科衛生士になりたいですか？

静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科
2年
星合 香さん



1 私は将来、医療関係の仕事に就きたいと思っていました。人を助ける仕事がしたいという気持ちがあったからです。ただ、具体的にになりたいと思う職業があったわけではなく、高校で進路を選択する際とても悩みました。そんなとき、知人が歯科衛生士になるという話を聞き、「資格」に魅力を感じたこと、直感的にピンときたものがあったことから、私も目指すことに決めました。

2 歯科医院へ行ったときのことを思い出すと、先生のお手伝いをしていた印象しか残っておらず、「歯医者さんの助手さん」というイメージが正直ありました。静岡県立短期大学部に入学し、勉強していくと、歯科衛生士が直接患者さんのお口のケアや歯科保健指導を行うなど、歯科衛生士の仕事の幅の広さを知ることができました。

3 入学前は「短大って専門知識を学ぶ環境としてどうなのだろう？」と思いましたが、広く保健・医療・福祉に関する知識を取り入れることができますし、講義・実習・行事を通し、他学科との交流も楽しんでいます。想像以上に覚えるべきことが多く、壁にぶつかることもあります。先生方も熱心に教えてくださいますので、友達と助け合って頑張っています。

4 私が一番大事にしたいのは、患者さんとのコミュニケーションです。患者さんとよりよい信頼関係を築き、患者さんにご自分の歯に関心を持って口腔だけでなく全身の健康を維持していただくことができるよう、患者さんのニーズにあった支援をしたいです。また、技術や知識を身につけるだけでなく、人間として成長できるよう1日1日を大切に、努力していきたいです。



広島大学歯学部口腔保健学科
口腔保健衛生学専攻 4年
深田 恵里さん



1 医療系の大学に進みたいと思っていましたが、入学するまでこの学科のことについてはあまり知りませんでした。しかし勉強していくうちに、歯科衛生士は様々な可能性があり、口腔の健康を守ることを通して人々が楽しく生活していくためのサポートができる仕事であるということを知り、歯科衛生士の仕事に興味がわいてきました。



嚥下食体験実習の様子

2 この大学に入るまでは、歯科衛生士は歯医者さんの助手である、というくらいのイメージしかありませんでしたが、大学に入って、歯科衛生士は主体的に、口腔の健康を守るために様々なことを行っているということを知りました。また病院実習に出て、患者さんにとって歯科衛生士は、医師には言いにくいことも気軽に話せるよき相談相手なのだということにも気がきました。

3 医学部、薬学部も同じ敷地内にあり、他学部の人とも交流することができ、幅広い科目の授業を受けることができ、興味のある分野をとことん勉強することができます。また私は養護教諭課程を履修しているので、全身のことや応急処置の授業を受け、基礎看護学実習で内科・小児科等に行き、小・中・高等学校の保健室での実習や多くの経験をすることができます。

4 現在興味のある摂食・嚥下訓練などについてもっと学び、人々が生涯おいしく食事をするために支援のできる歯科衛生士になりたいです。また、将来的には教育者として、次の世代のより幅広い分野で活躍できる歯科衛生士を育てていく仕事もしてみたいと思っています。



虫歯撲滅運動中!! 小さい子どもたちに分かりやすく話すのは、なかなか大変です…。でもみんな真剣に聞いてくれていました。メンバーとの結束力も強くなりました。



袖ヶ浦セミナーハウスでのグループワーク☆ 真剣に話し合っています。

大学付属病院の手術室見学中。いつもと違う雰囲気にとちょっとドキドキ、姿勢も正しくなります。



生命歯学部と合同での文化祭です。去年は成宮寛貴君とエドはるみでグー!! みんなで盛り上がります☆



日本歯科大学 東京短期大学

私たちの学校は豊富な臨床・臨地実習先があり、実践力を伴った専門知識と技術を身につけることができます。また平成21年より、専攻科歯科衛生学専攻が開設され、歯科衛生士として、さらに上のレベルでもある学士(口腔保健学)へステップアップできる環境になりました!



専攻科



訪問介護員2級の資格取得のための技術実習です。初めて体験することも多く、大変だけれど楽しいです。



口腔保健指導法研究の授業の一環として、花王ミュージアムに行きました。日本のヘルスケアの歴史や、製品が出来るまでの流れ、花王での歯科衛生士の仕事を学びました。



患者と術者の1対1で行う口腔内撮影法の技術や、読影のポイントを習得するために実習を行っています。

島根県歯科技術専門学校



1年生

体育の授業でバレーボール。この時間は息抜き(!?)



初めてのストッピング仮封。ドキドキ♥



2年生

幼稚園での臨地実習。子どもたちに癒され自然と笑顔になります。



3年生

晴れて卒業。3年間がんばりました!!



3年生は、ほぼ毎日臨床実習にでかけます。歯科医院だけでなく、病院、通所施設、地域保健センター、など様々な機関で内容豊かな実習ができます。



保護者の方に来てもらいスクーリング。親も子も、お互い緊張しています。

徳島歯科学院専門学校



本校は、清流吉野川を北に徳島県歯科医師会立の3年制の学校です。学生のカラーは明るく、エネルギーです。誰もが口を揃えて言います。「学校は楽しい! けれど勉強は難しい(>_<)」と。

2年次のI期実習が終わると教員が鍋、釜、ざるをさげ“おつかレー会”と称し、学生は三角巾とマスクを着用し煮沸消毒器のガスに大鍋2つ、ローリエで香りづけした特製カレーを食べて実習の疲れを癒します。サラダ班、ヨーグルト班も一緒にフロア全体がカレーの匂いで食欲をそそります。こんなアットホームな専門学校です。

徳島で有名なのは阿波踊りと徳島ラーメンです。阿波踊り本番には、本校も歯科学院連という連で、街へ繰り出します。「一かけ二かけ三かけて踊りはやっぱり歯科連で・・・ヤットサー♪ヤットサー♪」と黄色い声をはりあげます。麺類では、香川のうどん、徳島のラーメンと言われるくらいにラーメンが有名です。地元のラーメン店の一つにはシカガクの学生が代タアルバイトをしているくらいです。教員は年中元気印の私を含めて4名、実習助手としてパートの歯科衛生士教員1名、あわせて5名です。徳島へお越しの際はぜひ本校にお立ち寄り下さい。両科で、待とうけんな〜!



霧島のセミナーハウス
学生はいつでも自由に使用できます



学食
昨年できました!
日替りが好評です!!



卒業研究

保護者実習を卒業研究へつなげて発表へ



建学の理念



20年開育み続けています...

学校法人 南学園
鹿児島医療福祉専門学校
歯科衛生学科

平成元年に開設された本学科は、昨年20周年を迎え、3年制に移行後初の卒業生も国試合格100%と華を添えました。校内では看護・助産・理学療法・介護福祉の各学科との交流も盛んです



専修学校スポーツ大会
全国大会めざしてがんばります!



研修旅行
シンガポールで異国の文化に触れて...



卒業式
3年間で一番うれしい日です!!



学園祭
お揃いのTシャツで体育の成果?!発表
千アダンス



ポスターモデル?!
2年間学校の顔として活躍しました...

日本歯科衛生士会では、会員の皆様に活用していただくために パンフレット、マニュアルなどを作成し、配布・頒布しています!

からだの健康は歯周病予防から

成人の約8割が罹患し、「国民病」ともいえる歯周病について、科学的根拠に基づいた情報を中心に全身疾患とどのように関わっているかをわかりやすく解説したガイドブックです。歯周病について理解を深めるだけでなく、チェアサイドガイドとしても活用できます。



歯科衛生士のための医療安全管理マニュアル

近年、無床の歯科診療所においても医療安全管理体制が義務づけられ、歯科衛生士にも医療安全に対する十分な知識と技能を身につけて業務に臨むことが求められています。歯科衛生士業務に関する医療安全管理マニュアルであり、チェックシートも付いています。

お口の健康ガイド

超高齢社会を迎え、食べる楽しみを維持するためにお口の健康にも関心が高まっています。高齢者を対象とした口腔機能向上の指導に活用できるパンフレットです。



口腔機能管理に基づく専門的口腔ケア

高齢者の特性および要介護高齢者における口腔機能管理と歯科衛生士の役割についてまとめられた冊子です。

財団法人サンスター歯科保健振興財団主催 「第2回世界歯科衛生士賞」論文募集のお知らせ

財団法人サンスター歯科保健振興財団では「第2回世界歯科衛生士賞」論文を募集しています。「世界歯科衛生士賞」は、世界全ての歯科衛生士、歯科衛生学校生徒を対象に、一般社会や歯科業界に優れた貢献をした歯科衛生士を称え、勇気付けるために創設され、3年に1度の募集・審査を行っています。第1回世界歯科衛生士賞は学生部門で宮城高等歯科衛生士学院の学生3名の論文が受賞しました。

「第2回世界歯科衛生士賞」論文の募集締め切りは、2009年9月30日です。

詳しくは下記ホームページよりご確認ください。

財団法人サンスター歯科保健財団 <http://www.sunstar-zaidan.org/index2.htm>

お便りお待ちしております

楽しい紙面作りのために、皆様のご意見や、学生生活の中での様々な情報をお寄せください。

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19

(社)日本歯科衛生士会「学生だより」

編集係

TEL.03(3209)8020

FAX.03(3209)8023

<http://www.jdha.or.jp/>